

グラビア	地域を支える人 小倉慎也さん・東京都	1
発掘！地域の希望のタネ	北海道天塩郡遠別町 〈えんべつ富士見〉	5
給食のじかん	〈ジビエカレー〉 熊本県山都町 大久保ルミ	6
解題	UNDER 35：若者からの自治研宣言II	8
焦点	国による公立・公的病院の再編統合に欠けた視点 佐々木実	10

特集

UNDER 35：若者からの自治研宣言II

	若者の視点をこれからの自治体に活かす 若者のエンパワメントと社会参画	林 大介	16
座談会	UNDER 35 のいまとこれから	仲正恵+掛川和輝+ 竹内勇貴+西尾祥之	24
	銚子市におけるインスタグラムを活用した ビジュアルプロモーションについて 若手職員プロジェクトチームによる調査・分析	沼田紘章	34
	「食のバリアフリー」みんなと群馬でいただきます！ 県内ベジタリアン・ムスリム対応の実践活動	谷田卓哉	41
	邑南町庁舎にキッズスペースを	藤彌葵実	47
	奄美市での自治研概要と自治研の意義	友原吾朗	53

書評	佐藤俊一 著『日本地方自治の群像』第一〇巻	菅原敏夫	61
各県自治研活動レポート	地方財政セミナーを開催 京都府本部	榎田博之	62
連載	『月刊自治研』を読む(第五季)④森林自治とロシアの森	篠田 徹	64

	自治研センターの機関誌案内	71
	次号予告・編集部から	72

UNDER35 .. 若者からの自治研宣言II

六年めを迎えたUNDER35の活動を振り返り、到達点とこれからを展望するとともに、各地で奮闘する若手組合員による自治研活動にもスポットを当てています。

若者の視点を自治体に活かす

日本の若者は政治や社会参加に消極的と言われますが、それは「大人」が地域の担い手として若者を尊重していないことにも起因するのではないのでしょうか。(本誌一六頁)

UNDER35のいまとこれから

二〇一四年の佐賀自治研から、昨年の高崎市での第二回全国集会までを振り返りながら、UNDER35のいまの課題と、これからについて新旧メンバーが語り合いました。(本誌二四頁)

千葉県銚子市◎インスタグラムでプロモーション

若い女性に人気のSNS、インスタグラムを利用して、これまで市役所がアプローチしにくかった層にまちの魅力を届けた若手職員のレポートです。(本誌三四頁)



島根県邑南町◎庁舎にキッズスペースを設置

日本一の子育て村をめざすとスローガンを掲げる邑南町なのに、庁舎は子ども連れの親たちには使いにくいと、組合青年部が会議の仕方から見直してキッズスペースを作るまでをレポート。(本誌四七頁)



群馬県◎食のバリアフリーの取り組み

外国人比率が全国三位の群馬県で、ベジタリアンやムスリムなど食のタイプのある人たちが共存しようと、飲食店や宿泊施設も巻き込んだプロジェクトの記録です。(本誌四一頁)



鹿児島県奄美市◎離島での自治研集会奮闘記

鹿児島県の離島、奄美大島ではじめて鹿児島県本部の自治研集会を開催、奄美の自然を縦横に満喫するバラエティに富んだ分科会などを企画した奄美市職員の若手のみなさんの奮闘ぶりをご紹介します。(本誌五三頁)

